

山陰支部だより

発行&編集：パナソニック松愛会山陰支部
発行人：吉岡保夫 編集人：高橋和久
山陰支部HP：<http://www.shoai.ne.jp/sanin/>

2017年度年次支部総会開催

5月20日、2017年度の支部総会を松江エクセルホテル東急にて、24名の参加者のもと開催しました。総会に先立ち、パナソニック保険サービス(株)様より「交通安全啓発の取組み」というテーマで講演をいただき、ビデオにより、車、バイク、自転車、歩行者それぞれの危険についての事例紹介に続き、1)人間の視覚の限界 2)高齢者の事故防止 についてのお話があり、交通安全についての認識を新たにしました。

その後総会に入り、物故者への黙祷、上田会長・津賀社長のメッセージ、吉岡支部長の挨拶、全国総会報告に続き議案討議に移り、昨年の活動報告の後、「支部行事に参加しやすい環境づくりに努め、参加者の増加を目指す。また、会員間の友愛・親睦を深めるよう、ふれあいの機会を増やす」という今年度の活動方針、具体的活動計画、役員体制等が発表され、全ての議案が承認されました。



総会后、健康づくり担当の桑田副支部長から、健康づくり活動説明と健康クイズがあり、恒例の懇親会に移りましたが、終始和やかな雰囲気の中、楽しく盛り上がったものになりました。最後に出席者最長老の加藤会員の一本締めで散会となりました。



2017年度活動体制 (全て留任)

- ・支部長 : 吉岡保夫
- ・副支部長 : 桑田健治 (会計、健康づくり推進担当)
- ・地区委員 : 赤星啓夫 (社会貢献活動責任者、会報レポータ担当)
- ・地区委員 : 高橋和久 (ホームページ責任者、支部報発行担当)

- ・世話役 :
- ・ホームページ委員 : 和田森洋一
- ・米子地区世話役 : 牛尾淳一

活動の状況

・鳥取地区総会説明会開催 6月10日(土) 参加16名

米子市の海王にて、恒例になった鳥取地区の出張説明会を開催しました。支部長による支部総会議案書の説明の後、副支部長による健康クイズを行い、和やかな総会説明会となりました。その後の懇親会では、各自の近況報告に熱が入り時間が不足するほどで、楽しく有意義な時間を過ごすことができました。



・里山(田和山自然学習の森) 整備

参加人員 : 3月18日(土)3名 / 5月13日(土)6名 / 6月17日(土)7名 / 7月15日(土)4名 / 8月19日(土)6名



毎月1回社会貢献活動の一つとして行っている、松江市の「田和山自然学習の森」の斜面の整備を行いました。

本部助成金で、軽くて取り回しの良い、充電式草刈り機を7月に3台導入し、使用を始めています。毎月第3土曜日に行っていますので、会員の皆様の積極的な参加をお願いします。



・ヨシ刈りボランティア事業参加 3月4日(土) 参加6名

出雲市にある「ゴビウス」付近の宍道湖護岸で、ヨシ刈りボランティアに参加しました。ヨシ刈りは、松江市と出雲市が共同で宍道湖の水質保全を目的として、数回/年行われます。松愛会も2015年度から参加しており、今回は春の日差しの中、松愛会の6名を含む3グループ60名が参加し、約一時間良い汗をかきました。

お土産にお茶とヨシの紙漉き製品をいただきました。



～ひとこと～

当支部の副支部長、会計および健康づくり推進を担当しております桑田です。

パナソニック松愛会の健康づくり活動は、近年平均寿命が延びている反面、健康寿命とのギャップが10年にも及ぶ現状に鑑み、よりよい人生にするためパナソニック健康推進センターの指導の下、取り組んでいるものです。

健康づくりは、食生活、運動、脳の活性化を日常生活にうまく取り込むことにより、行うことができます。特に昨今認知症に関する関心が高まっていますが、記憶する・思い出すこと、人とのコミュニケーション、感動すること、喜びと感謝の気持ち、楽しむこと、身体(手、足)を動かすことなど、「脳の刺激」が予防には非常に重要とされており、本年はこれらの予防対策に関する指導をいただいております。

松愛会山陰支部も、各種懇親会、社会見学や町歩き、山歩き、ゴルフ同好会など、これらに沿った活動を企画しておりますので、各種行事への積極的な参加を通じて、健康寿命向上の一助になればと思っております。

山陰支部 副支部長 桑田健治



- ・松江市水道局 忌部浄水場周辺の清掃(水道週間・環境の日
「水道週間」にちなみ、松江市水道局が中心となり、千本・大谷貯水池周辺で、31回目の「水源クリーン作戦」が総勢350名のボランティア団体などの参加により行われました。当支部は11回目の参加で、昨年と同様千本水源周辺での清掃作業を担当しました。やわらかい日差しと清々しい空気の中、楽しく健康的な社会貢献活動となりました。

水源クリーン作戦) 6月3日(土) 参加4名



- ・ゴルフコンペ (第60回/第61回)
年度前半のゴルフコンペが2回行われました。

- ・第60回 4月3日(月) 出雲空港CC 参加12名
強風注意報が出るほどの強風が吹き荒れ、パットの際にボールが動くこともあった中で行われました。

	氏名	グロス	HC	ネット
優勝	岩村 暢男	94	20	74
2位	赤司 修	91	16	75
3位	近藤 五朗	93	13	80



- ・第61回 6月8日(木) 島根GC 参加10名
ちょうどこの週に梅雨入り宣言があったばかりで、芝生にとっては良い季節になりましたが、昨晚の悪天候から一転、スタート前には良い天気になり、気持ちの良いゴルフができました。

	氏名	グロス	HC	ネット
優勝	山本 佐太郎	87	19	68
2位	三代 信介	96	23	73
3位	桑田 健治	105	32	73



会員情報

～エージシュート 150回達成！ 近藤五朗さん～

ゴルフの世界では、自分の年齢以下のスコアでラウンドすることをエージシュートと言い、全てのゴルファーの憧れですが、実際に1回でも達成できるのは心・技・体をバランスよく備えているごくわずかの人たちです。

大田市在住の近藤五朗さんが、このほど150回目のエージシュートという偉業を達成されました。(いずも大社CCの競技で82ストローク)

近藤さんは、72歳で1回目を、82歳の時100回目を達成後、次の目標であった150回目を、見事85歳で成し遂げられました。

3年前、腹部大動脈瘤の大手術を行い成功！ 主治医からは、『キバラスにやりなさいよ』と言われ、この言葉に従い、力まずリラックスしてやったところ、78ストロークが出たとのことですが、これが手術の2か月後ということで、はからずも、技術だけではなく、大変な体力、気力の持ち主ということが証明されました。

そして、このことをきっかけに一層の自信を持つことができ、150回目の快挙につなげることができた、との本人の弁です。

次の目標は「90歳までに200回達成」と明言、これを目指してすでに挑戦が始まっています。



・ 中海・宍道湖一斉清掃 6月11日(日) 参加7名

この行事は、2005年に中海・宍道湖がラムサール条約湿地として登録され、これを契機に、島根、鳥取両県と関係自治体、地元住民などが協働してそれぞれの地域で一斉に清掃をする活動で、毎年6月に行われています。



パナソニックグループも、全国パナソニックエコリレージャパン活動の一つとして毎年参加しており、会社、労組、OB会が一体となって社会貢献活動として取り組んでいます。



今年も会社、労組、松愛会から合わせて27名が朝早くから参加し、松浦市長のあいさつに続き、1時間程度、白潟公園・岸公園周辺のゴミの収集を行いました。

・ 夏季懇親会開催 松江エクセルホテル東急 レストラン「MOSORO」 8月26日(金) 参加18名

恒例の山陰支部夏季懇親会を開催し、夏季懇親会が始まって以来最高の18名の会員が元気に集まりました。

会場のエクセルホテル東急のレストランは、料理の評判が良く、毎年利用させてもらっているのですが、今年は室内が和テイストの雰囲気リニューアルされ、会員からの評価は更に上がったように思います。

18:15から始めた会も、あっという間に飲み放題の2時間が過ぎ、非常に楽しく盛り上がった会になりました。



・ 会員の異動 (期間 2017/3~2017/8)

- ・ 転入：徳丸誠二 (出雲市) →三重支部から
2017/5
- ・ 新入：山田修治 (出雲市) 2017/7
- ・ 逝去：小立 茂 (松江市) 2017/5
- 佐藤 望 (鳥取市) 2017/7

・ ご長寿お祝い (期間 2017/3~2017/8) おめでとうございます!

- ・ 米寿： 山本節二 (鳥取市) 2017/5
- ・ 喜寿： 赤司 修 (松江市) 2017/6

9/1現在 山陰支部総数132名

・ 主な今後の予定

- 社会見学・・・ 11/3(金)祝日 詳細は案内チラシをご参照ください。
- 里山整備・・・ 10/21(土)、11/18(土) 松江市田和山自然学習の森にて
- ゴルフコンペ・・・ 11月上旬 (いづも大社CCを予定)
- ベルマーク集計・・・ 2月
- 新春懇親会・・・ 2018/1/27(土) 確定 詳細は別途案内いたします。

後記：山陰支部報の第3号をお届けします。今回、年齢を重ねてもゴルフへの情熱が衰えない、大田市の近藤さんのエージシュートを取り上げさせてもらいました。近藤さんの姿と、先ごろ105歳で生涯医師として天寿を全うされた、日野原 重明医師の好奇心と前向きな姿勢にも刺激され、自分自身も諸先輩方の生き方や考え方を大いに見習い、実践していきたいと思っているこの頃です。

ホームページには写真も多く掲載していますのでそちらもご覧ください。(担当：高橋) ホームページ：<http://www.shoai.ne.jp/sanin/>